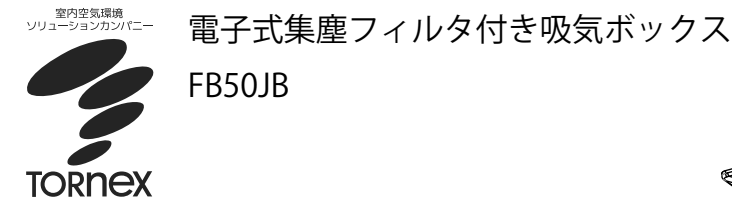


# 据付工事説明書



## 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。  
ここに示した注意事項は、据付工事をする人やお使いになる人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたい内容です。  
誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。

### 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 
- 次の場所には設置しないでください。

  - ・可燃性ガス、爆発性ガス・腐食性ガスのある場所。
  - ・「火気厳禁」と指定されている場所。
  - ・オイルミストの発生する場所。
  - ・金属製のほこりが発生する場所。
  - ・水蒸気の発生する場所。
  - ・湿度の高い場所。
  - ・燃えやすいものの近く。
  - ・塩分のある場所。

このような場所に設置すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

本製品や配線に水をかけないでください。  
火災・感電のおそれがあります。

引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナーなど）を本製品の近くに置かないでください。  
火災・やけど・けがのおそれがあります。

吸込口・メンテパネル内に異物を入れないでください。液体・粉末状のもの・金属片などの異物を入れないでください。  
火災・感電のおそれがあります。

吸込み口のそばで、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。  
火災・やけど・けがのおそれがあります。

- 
- 交流 100V(AC100V) で使用してください。  
火災・感電・故障のおそれがあります。

電源接続は確実に行ってください。  
接続が不完全ですと、感電や発熱による火災のおそれがあります。

本製品の配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。  
火災・感電のおそれがあります。

長期間使用しない場合は、必ず単独または専用のブレーカーを切ってください。  
火災・漏電・感電のおそれがあります。

据付工事の際は、指輪・ブレスレット・腕時計・ネックレスなどの装身具を外してください。  
感電・けがのおそれがあります。

据付工事の際は、必ず主電源スイッチを切り、単独または専用のブレーカーを切ってください。  
感電・けがのおそれがあります。

据付工事の際は、電子式集塵フィルタ・電源ボックス・ルーバー等を落下させないでください。  
火災・感電・けがのおそれがあります。

異常や異音・異臭が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。  
火災・感電・けがのおそれがあります。

### 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

本製品の近くに精密機械を置かないでください。  
精密機械が故障するおそれがあります。

- 本製品の性能と安全を確保するために、この据付工事説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく据え付けてください。
- 本製品の配線工事は、電気工事の資格をお持ちの方が行ってください。
- この説明書に記載される△警告・△注意・△＜据付工事上のご注意＞は、据付工事する上で重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

アース接続端子を、ガス管・避雷針・電話線・水道管などに接続しないでください。  
爆発・引火・落雷の影響・感電のおそれがあります。

下記の使用条件を超える地域・環境には取り付けないでください。

- ・通気気流温度 4～50℃
- ・設置周囲温度 0～40℃
- ・設置周囲湿度 80%RH ただし結露なきこと

火災・感電のおそれがあります。

据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。  
転落や製品落下によるけがのおそれがあります。

本製品に貼ってあるラベルは、絶対に剥がさないでください。  
ラベルには、安全上の注意が記載されていますので、これを剥がしてしまうと、火災・感電・けがのおそれがあります。

電子式集塵フィルタ・ルーバーを外して使用しないでください。  
製品内部に異物が入り、火災・感電・けがのおそれがあります。

ぬれた手で本製品や埋込表示スイッチに触れないでください。  
火災・感電・けがのおそれがあります。

アースを D 種設置工事に基づいて確実に取り付けしてください。  
火災・感電のおそれがあります。

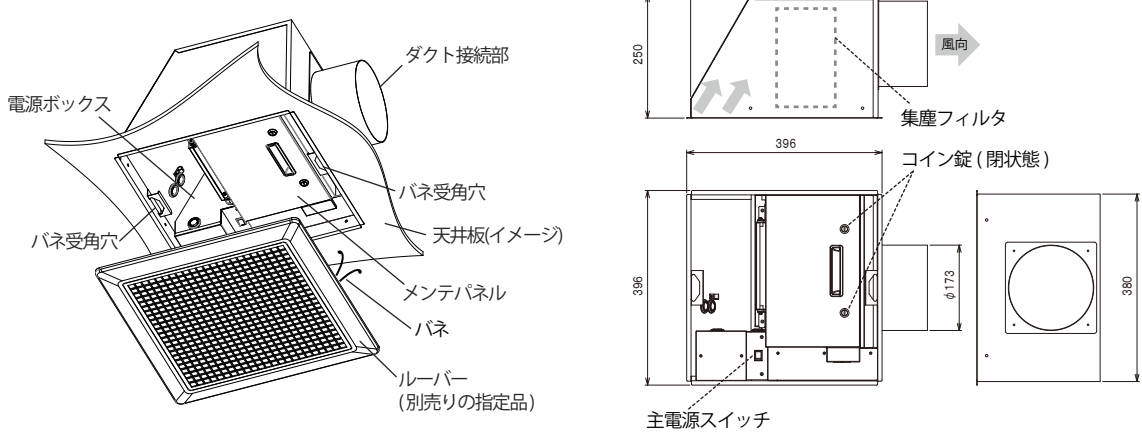
分解や修理・改造は絶対にしないでください。  
火災・感電・けがのおそれがあります。

- 
- 据付工事の際に電子式集塵フィルタ等に指を入れないでください。  
けがのおそれがあります。

取付用ネジは、確実に締め付けてください。  
製品の変形・破損や落下により、けがをするおそれがあります。

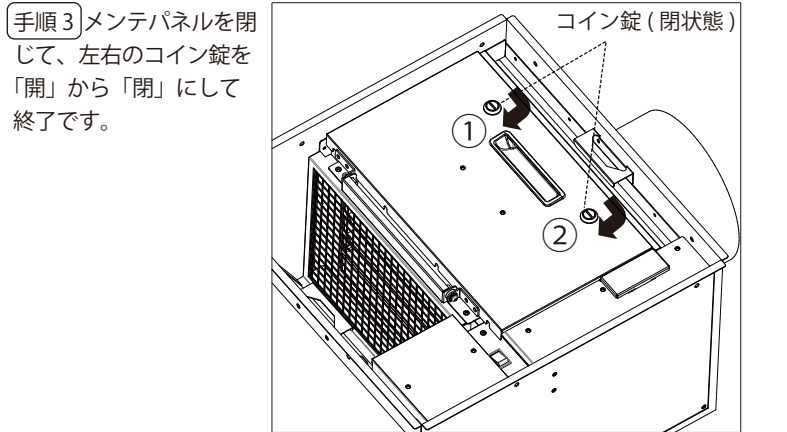
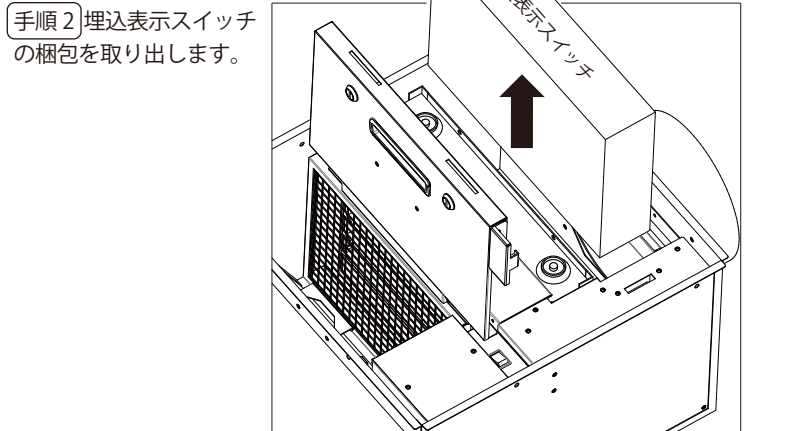
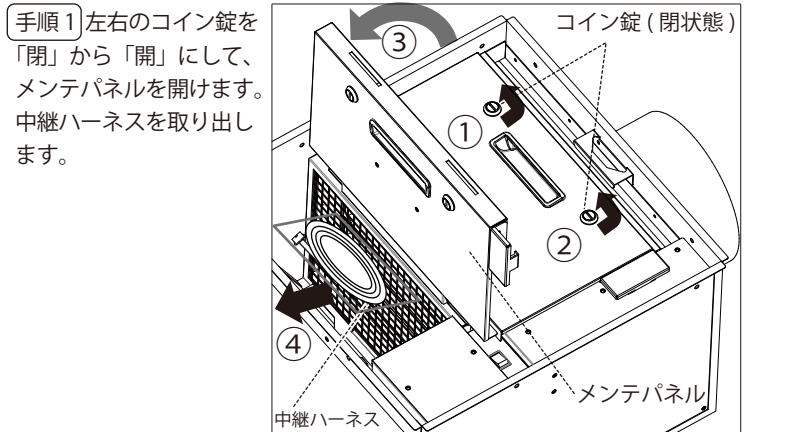
電源接続は必ず単独または専用のブレーカーに接続してください。  
製品の接続されたブレーカーが不明ですと、点検・修理ができない可能性があります。

## ① 各部の名称 / 仕様



## ② 付属品の取り出し

製品内に施工に必要な埋込表示スイッチ、中継ハーネスが入っています。  
下記手順に従って取り出してください。



## 製品仕様

品 名		電子式集塵フィルタ付き吸気ボックス
型 式		FB50JB
外 径 寸 法	全幅 (W)	396mm
	奥行き (D)	396mm
	高さ (H)	250mm
重 量		約10kg
定格風量		400～500m³/h
電 源		AC100V 50/60Hz
消費電力		約12W
材質	塗装部	塗装色:黒、スチール(亜鉛メッキ鋼板)
	本体部	スチール(亜鉛メッキ鋼板)

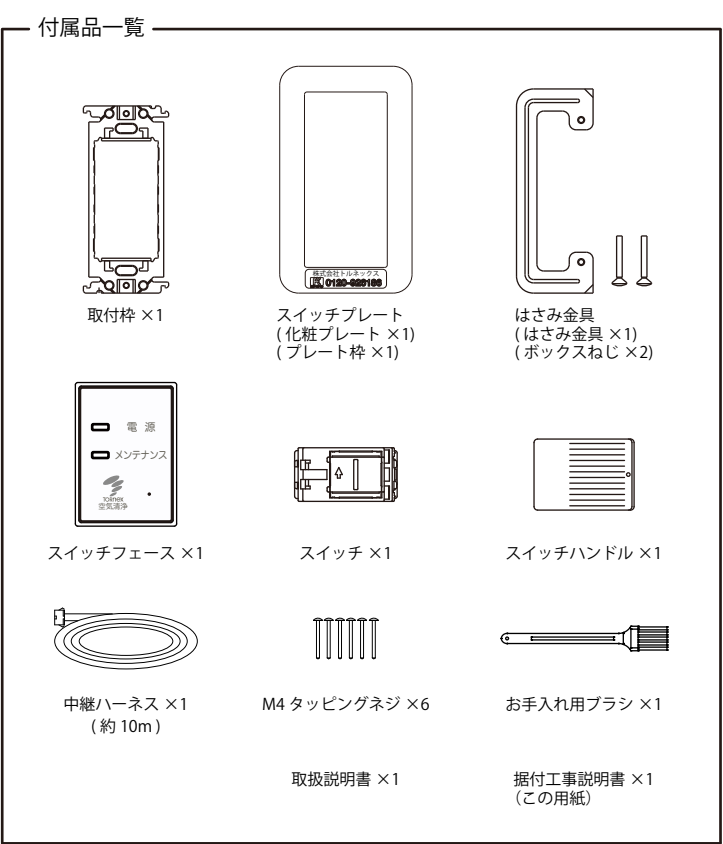
集塵効率 (製品単体で測定※1)

風 量	300m³/h	400m³/h	500m³/h
粒子径 [μm]			
0.3～0.5	76.0 %	57.0 %	45.0 %
0.5～1.0	82.5 %	66.5 %	52.5 %
1.0～2.0	86.0 %	75.5 %	64.0 %

※1:各風量における製品単体でのパーティカルカウンタによる計測 (大気塵にて)

## ③ 必要部材確認

開梱した際に吸気ボックス本体以外に、下記必要部材があることをご確認ください。



別売り品

※製品の組立に別売りの指定ルーバーが必要です。  
施工時に用意されていない場合は、適合する別売りのルーバーの品名・品番について当社カスタマーサービス部または販売店に確認し、用意してください。  
また、ルーバーの吸込み部がメッシュ状でないものにはルーバーオプションのフィルタが必要になります。

※配線に必要な電源コード (VVF ケーブル 1.6mm 3 芯) やダクト接続に必要なアルミテープやコーキング材などについては、施工業者にて手配が必要です。

ご不明な点や疑問等あれば  
下記宛先にご連絡ください。

**お問い合わせ先**  
株式会社トルネックス カスタマーサービス部  
〒116-0003 東京都荒川区南千住 7-20-7

**0120-926186**  
(有料) **03-3891-6781**

電話受付時間：9:00～17:30  
※土日祝及び夏期休暇・年末年始を除く



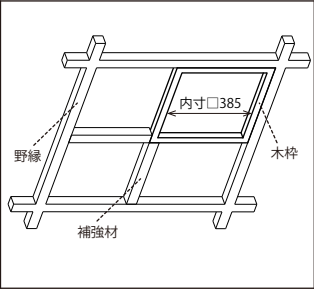
据付工事説明書

- 規制**
- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの銅板立ち上がりダクトを取り付けるか、煙逆流防止ダンパーを据付けて点検口を必ず設けてください。
  - 配管用システム部材については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

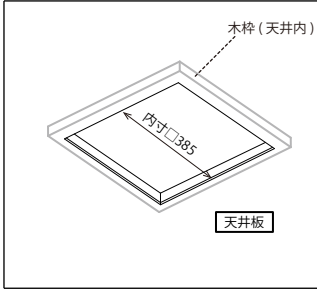
④ 据付工事のしかた ※据付工事前に必ず専用または単独ブレーカーを切ってください。

1. 設置準備

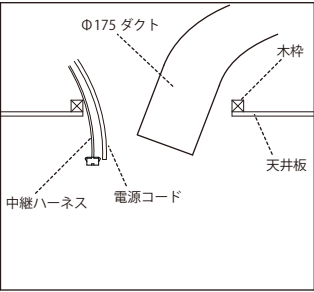
**手順1** 木枠を作り、野縁に設置します。  
木枠内寸：□385mm  
木枠：約 30mm 角材 (1 寸角)  
※補強材で木枠の強度補強必要。



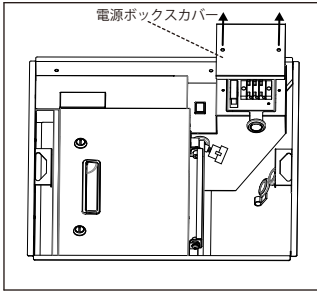
**手順2** 木枠の内寸と同じ□385mmの穴を開けた天井板を取り付けます。



**手順3** φ175ダクト、電源コード、中継ハーネスを天井面に開けた開口から引き出します。



**手順4** 吸気ボックス本体から電源ボックスカバーを取り外します。(ネジ2本外します。)



**警告** ※これらの注意事項を守らない場合、重大な事故や財産の損害原因になります。

<据付工事上のご注意>

- 据付工事は、必ず二人以上で行ってください。
- 据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。

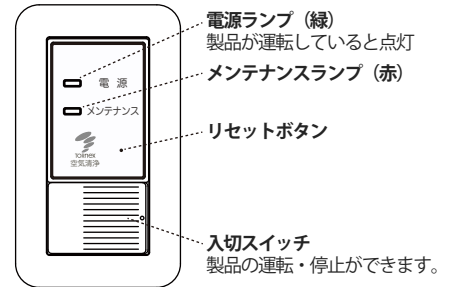
⑥ 試運転と作動確認

- ①据付工事(配線工事)が確実に完了したことを確認してください。
- ②メンテパネルが完全に開まっていることを確認してください。
- ③吸気ボックス本体の主電源スイッチを入れてください。
- ④埋込表示スイッチの入切スイッチを押してください。
- ⑤埋込表示スイッチの電源ランプが点灯(緑)していることを確認してください。

※電源ランプ点灯(緑)以外の表示の場合は、右図の「埋込表示スイッチのランプ表示の確認」の内容を確認してください。

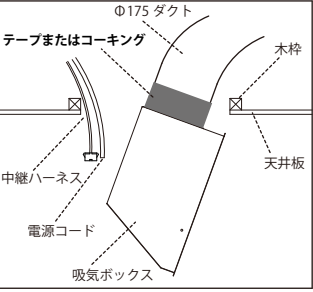
<試運転時のご注意>

- ぬれた手でスイッチを操作しないでください。感電のおそれがあります。

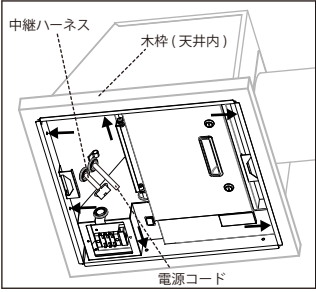


2. 吸気ボックスの設置

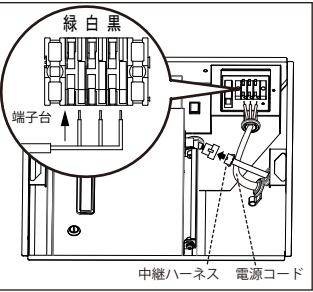
**手順1** 吸気ボックスのダクト接続部に、φ175ダクトを接続します※1。電源コードと中継ハーネスをゴムブッシュを通して吸気ボックス内に挿入します。



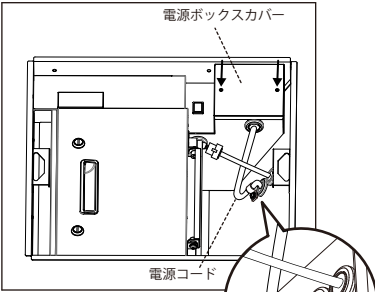
**手順2** 吸気ボックスを天井面の開口から天井内に挿入し、取付木枠に付属のM4タッピングネジ6本で固定してください。



**手順3** 吸気ボックス内の端子台に、電源コードを接続し、中継ハーネスをコネクタ接続します。



**手順4** 吸気ボックスに電源ボックスカバーをネジ2本で取り付けます。(※電源コードをクランプ固定すること)



※1: ダクト工事上のご注意

- ダクト接続部にφ175ダクトをしっかり差し込み、風漏れのないように市販のアルミテープでテーピングまたはコーキングにて接着を行なってください。
- 吸気ボックスに荷重がかからないようにダクト自体を吊上げて固定してください。吸気ボックスに荷重がかかりますと結露、エア漏れの原因となります。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります。)
  - ①鋭角的な極端な曲げ
  - ②多数の曲げ
  - ③吹出口のすぐそばに曲げがある
  - ④ダクト経路の途中で極端に細い部分がある

埋込表示スイッチのランプ表示の確認

下記の処置をしても状況が変わらない場合は、ただちに製品本体の主電源スイッチ及び専用または単独ブレーカーを切り、お買い上げの販売店または当社カスタマーサービス部にご連絡ください。

状 況	確認事項	処置のしかた
電 源 メンテナンス	緑ランプ点灯 赤ランプ消灯	正常運転中。
電 源 メンテナンス	緑ランプ消灯 赤ランプ点灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを、1 回押すとすべてのランプが消え、もう一度押すと緑ランプが一度点灯してから消灯し、その後赤ランプだけ点灯する場合。
電 源 メンテナンス	緑ランプ点滅 赤ランプ点滅	集塵フィルタが入っていないか、または正規の位置にセットされていません。
電 源 メンテナンス	緑ランプ消灯 赤ランプ消灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを、何度押してもすべてのランプが消灯している場合。

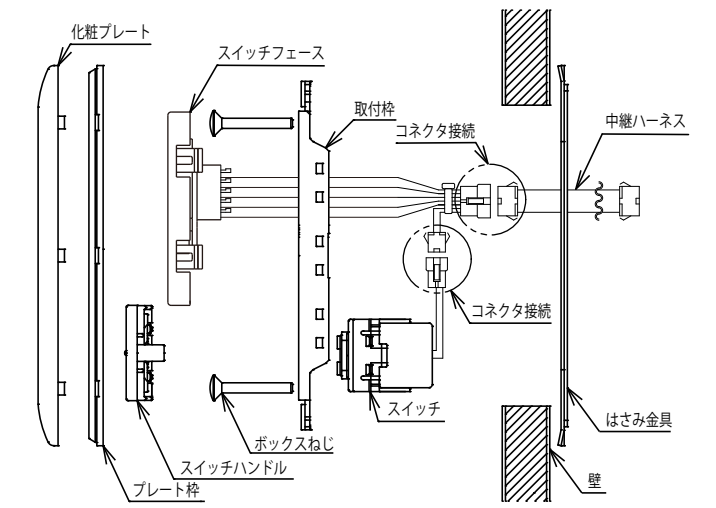
※上記処置を行った後は、埋込表示スイッチの入切スイッチを一度OFFにしてから、もう一度ONにして緑ランプ点灯(正常運転中)になっていることを確認してください。

⑤ 配線工事のしかた

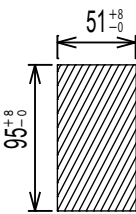
1. 埋込表示スイッチの組立・配線要領

- ①スイッチを取付枠の下位置にはめ込みます。
- ②壁に指定の穴を開け、取付枠とはさみ金具で壁を挟み、上下2カ所をボックスねじで固定します。
- ③スイッチフェースの2Pコネクタとスイッチのコネクタを接続し、スイッチフェースの7Pコネクタを取付枠の内側に通し、吸気ボックス本体と接続した中継ハーネスとコネクタ接続します。
- ④スイッチフェースを、取付枠にはめ込みます。
- ⑤スイッチに、スイッチハンドルをはめ込みます。
- ⑥プレート枠を、付属のねじ2個で取付枠に固定します。
- ⑦化粧プレートを、プレート枠にはめ込みます。

埋込表示スイッチ 組立・配線図



壁の穴あけ寸法



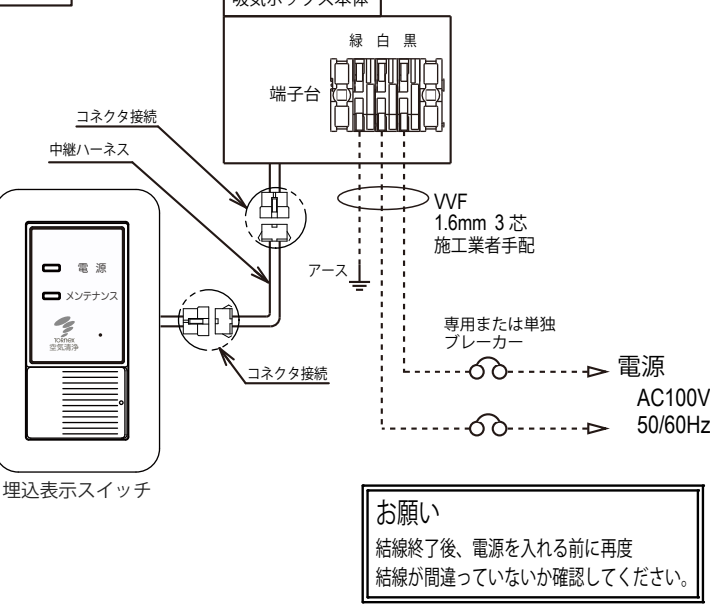
2. 配線図、配線工事上の注意

**警告** ※これらの注意事項を守らない場合、重大な事故や財産の損害原因になります。

<配線工事上のご注意>

- 配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。
- 配線工事前に、必ず電源を遮断してください。
- 電源の接続は、専用または単独ブレーカーを通したAC100V 50/60Hzの電源に接続してください。
- 電線は適用電線を使用してください。(VVF 1.6mm 3芯)
- アースをD種設置工事に基づいて確実に取り付けしてください。

配線図

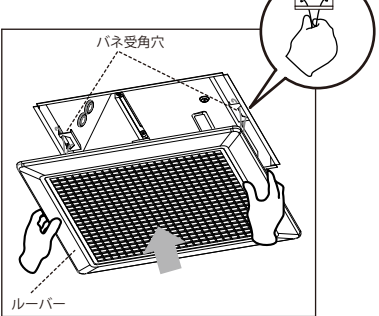


お願い  
結線終了後、電源を入れる前に再度  
結線が間違っていないか確認してください。

⑦ 引き渡し

最後に別売りの指定ルーバーを取り付けて作業終了です。

**手順1** ルーバーの両側のバネをバネ受角穴に入れてから、天井面にルーバーを押し付けて取付します。



お客様に引き渡す際には、下記のことを必ず説明してください。

- ①同梱されている取扱説明書の裏表紙の保証書に引渡日・設置業者様を必ず記入してください。
- ②同梱されている取扱説明書で、お客様に操作方法と安全上のご注意を説明してください。
- ③使用前にもう一度、取扱説明書を読んでいただくように説明してください。
- ④取扱説明書を、いつでも見られる場所に大切に保存するように説明してください。